

分科会 4：体験活動を提供する組織内の ESD 意識醸成

分科会 4 報告

ファシリテーター

大崎 美佳

北海道地方 ESD 活動支援センター

／環境省北海道環境パートナーシップ

オフィス（EPO 北海道）

テーマに関して、国立青少年教育振興機構本部、伊豆半島ジオパーク推進協議会より事例紹介をいただいた。それを踏まえ参加者 24 名と一緒に課題と解決方策について意見交換を行った。意見交換では主に 4 つのポイントが上がった。

- ① 情報の伝え方「大きな情報は、対象別に適切な情報量に細分化することで理解を得られやすい」
- ② 人の異動による取り組みの停滞「異動先で ESD が広がること等ポジティブに捉える。外部に仲間を増やすことで 0 スタートにはならない。」
- ③ 担い手・連携の拡大「ESD の取り組みを何かしらの形で表現すること、また、他者が表現していることのなかに ESD の要素を見つけることで、担い手の拡大・連携の強化につながっていく」
- ④ 自己肯定感を高めるためのほめ合い

今後は、SDGs 達成に向けた人材育成が ESD であるという位置づけで進めていくと整理し、関係者で共通認識を持つことで次のステップにつながると感じる。また、「組織内の ESD 意識醸成」今回のテーマはどのような主体にも関りがあり、対話のニーズは絶えないと考える。